

第1章 小牧市水道事業ビジョン・経営戦略策定にあたって

1 策定の趣旨

本市では、2004（平成16）年に厚生労働省が策定した「水道ビジョン」の方針を踏まえ、2009（平成21）年度に水道事業の運営に関する重点的な政策課題と具体的な施策などを明示した「小牧市水道ビジョン」を策定しました。その後、2013（平成25）年3月に厚生労働省は、人口減少社会の到来や東日本大震災の経験など、水道を取り巻く大きな環境の変化に対応するため、これまでの「水道ビジョン」を全面的に見直した「新水道ビジョン」を策定、公表しました。「小牧市水道ビジョン」についても策定から約10年が経過し、水道施設^{*}の老朽化対策や水道事業に従事する職員の技術継承の問題など事業を取り巻く環境も大きく変化しています。また、2014（平成26）年度には総務省から各公営企業に対して、収支の均衡を図るための投資・財政計画を中心とした中長期的な経営の基本計画である「経営戦略」を策定することが求められています。

このような背景から、「小牧市水道ビジョン」を抜本的に見直し、「経営戦略」の要素を加えた「小牧市水道事業ビジョン・経営戦略」（以下、「本ビジョン」という。）を新たに策定しました。

2 位置付け

本ビジョンは、厚生労働省の「新水道ビジョン」や上位計画となる本市の「まちづくり推進計画^{*}」との整合を図りつつ、中長期的な水道事業経営の基本計画とします。



3 計画期間

2020（令和2）年度から2029（令和11）年度までの10年間とします。